

# 企 画 部 地 域 政 策 課

## 1 中心市街地活性化関係

### (1) 中心市街地活性化基本計画関係

#### ア 中心市街地活性化基本計画の推進

「米子市中心市街地活性化基本計画」の推進について、下表のとおり会議を開催し検討を行った。

会 議 の 名 称	開催回数 (回)
米子市中心市街地活性化推進本部会議	1

#### イ 米子市中心市街地活性化基本計画（新計画）の認定

米子市独自の2期米子市中心市街地活性化基本計画の一部見直しを行い、米子市中心市街地活性化基本計画（新計画）を策定し、平成27年11月27日付けで国（内閣総理大臣）の認定を受けた。

計画期間 平成27年12月～平成33年3月

#### ウ 米子市中心市街地活性化基本計画第1回変更申請の認定

国の支援策の活用に伴う変更が必要となったため、第1回の変更申請を行い、平成28年3月15日付けで国の認定を受けた。

### (2) 中心市街地活性化協議会への支援

#### ア 中心市街地活性化協議会負担金

中心市街地活性化協議会の活動を支持するため、事務局経費の一部を負担した。

中心市街地活性化協議会事務局運営費負担金 1, 146, 924円

### (3) 中心市街地活性化事業の推進

#### ア 中心市街地活性化情報発信事業

##### (ア) まちなかを巡るモニターツアー事業

中心市街地の魅力を発信してもらうため、情報発信力の強い地域のブロガーを招いて、年2回モニターツアーを開催した。

冬 平成27年12月6日開催 モニター6名 記事8本

春 平成28年3月19日開催 モニター6名 記事6本

##### (イ) まちなかなう事業

本市のホームページに「よなご まちなかなう ～まちなか特派員報告～」のコンテンツを作成し、個人ブログで本市の中心市街地等に関する記事を発信している方を、「まちなか特派員」として13名を任命し、本市のホームページから各特派員のブログにリンクを張り、特派員自らのブログを通じて中心市街地エリアの見どころ、まちなかの楽しさやにぎわいの様子などの発信に取り組んだ。

平成27年4月1日～平成28年3月31日 記事489本

### (4) 中心市街地活性化補助事業

#### ア 米子市まちなかコミュニティ活性化支援事業

1件

(間接補助：県費2/6 市費1/6)

事業内容：施設整備事業（レンタルスペース及びレンタルオフィスの整備）

補助対象事業費 内訳

(単位：円)

総額	自己資金等	補助額 (市・県)
1, 846, 236	923, 236	923, 000

イ がんばる地域応援事業 1件

(間接補助：地域活性化センター 10/10)

事業内容：施設整備事業（ゲストハウス及びバリアフリースイールの整備）

補助対象事業費 内訳 (単位；円)

総額	自己資金等	補助額（地域活性化センター）
1,977,910	977,910	1,000,000

※補助対象外事業費 291,923円は含まれていない。

## 2 基地対策関係

(1) 美保基地周辺環境整備の調整及び促進を行った。

(2) 米子飛行場周辺地域振興協議会の開催

総会 平成27年8月21日

## 3 米子空港滑走路延長（2,500メートル化）関係

米子空港滑走路延長事業に関する地元との調整は8月21日の地元協議会において、取組状況と地域振興計画の進捗状況等について、説明と報告を行いました承された。

## 4 地方バス路線関係

(1) 生活バス路線を維持するため、生活路線維持費補助金の支出を行った。

日ノ丸自動車株式会社

区 分		路線数	補助額（単位；円）
生活路線 維持費補助金	運行費補助金	国県補助対象路線（広域幹線路線）	6 30,492,006
		県補助対象路線（広域路線）	7 22,707,726
		単市補助対象路線（市内完結路線）	9 20,974,936
合 計		22	74,174,668

日本交通株式会社

区 分		路線数	補助額（単位；円）
生活路線 維持費補助金	運行費補助金	国県補助対象路線（広域幹線路線）	2 4,102,537
		県補助対象路線（広域路線）	3 13,761,377
		単市補助対象路線（市内完結路線）	6 14,163,655
合 計		11	32,027,569

(2) 米子市循環バス（愛称「だんだんバス」）運行

路線バス活性化策の一助として、米子駅を発着し、大学病院など市内中心部を循環するコミュニティバスの運行を行った。

ル ー ト 市内中心部（米子駅→大学病院→ホープタウン前→天満屋前→ふれあいの里→高島屋前→米子駅）での一方周りの循環運行

運行回数 平日21便、土・日、祝日19便（始発8時～終発18時：30分間隔）

使用車両	市所有のノンステップバス（34人乗り）2台
停留所	32か所（市が設置）
料金	中学生以上1人1回150円、小学生100円、障がい者等50円、幼児無料
定期券	中学生以上1か月4,500円 小学生1か月3,000円 障がい者等1か月1,500円
回数券	150円券11枚綴り 1,500円 100円券11枚綴り 1,000円 50円券11枚綴り 500円
料金割引	鳥取県内の路線バス定期券（日ノ丸自動車株式会社・日本交通株式会社発行分）を提示された方を対象に中学生以上1回50円割引
運行方法	市とバス事業者が協定を結び、運行するバス事業者に対し、運賃経費から運行収入を控除した、いわゆる赤字額（27年度；13,982,044円）を市が補填した。
利用者数	総乗車人員126,262人 一日平均345.9人、一便平均17.0人（幼児を含む。）

(3) 米子市淀江町巡回バス（愛称 「どんぐりコロコロ」）運行

路線バスの廃止代替として、淀江駅または米子東病院を発着し、米子市淀江町全域を巡回するコミュニティバスの運行を行った。

ルート	便ごとにルートが異なり、淀江駅、白鳳高校、マリ医院、米子東病院、イオン日吉津店等を巡回（1便当たりの所要時間 15分～55分）
運行回数	平日・土曜10便、日、祝日運休（始発8時5分～終発15時54分）
使用車両	バス事業者所有のワンステップバス（35人乗り）1台
停留所	52か所（市が設置）
料金	中学生以上1人1回150円、小学生100円、障がい者等50円、幼児無料
定期券	中学生以上1か月4,500円 小学生1か月3,000円 障がい者等1か月1,500円
回数券	150円券11枚綴り 1,500円 100円券11枚綴り 1,000円 50円券11枚綴り 500円
料金割引	鳥取県内の路線バス定期券（日ノ丸自動車株式会社・日本交通株式会社発行分）を提示された方を対象に中学生以上1回50円割引
運行方法	市がバス事業者に運行を委託し、運行経費から運賃収入を控除したいわゆる赤字額（27年度；8,970,080円）を委託料として支払った。
利用者数	総乗車人員9,043人、 一日平均30.4人、一便平均3.0人（幼児を含む。）

(4) 米子市地域公共交通会議の開催

本市における生活交通に関連する事項について、道路運送法の規定に基づく米子市地域公共交通会議において検討した。

構成	学識経験者2名、事業者の組織する団体1名、バス事業者2名、住民又は利用者の代表4名、市長が適当と認める者1名、運転手を組織する団体1名、中国運輸局1名、警察1名、市職員2名 計15名
開催日	第1回 平成27年8月24日

## 5 鉄道関係

- (1) 山陰本線、福知山線の複線電化等について「山陰本線・福知山線複線電化促進期成同盟会」を通じて要望活動を行った。
- (2) 山陰を縦貫し北陸及び近畿を結ぶ超高速鉄道の建設着手推進を目的とする「山陰縦貫・超高速鉄道整備推進市町村会議」を通じて要望活動を行った。
- (3) J R利用に関わる諸問題について、J R西日本米子支社との調整を行った。
- (4) J R淀江駅前公衆便所の維持管理を行った。

## 6 航空路線関係

- (1) 空港利用者の利便性向上のため、鳥取県、境港市と共同で米子空港駐車場を運営し、駐車場無料化を継続するとともに、J R境線米子空港駅待合所の維持管理を行った。
- (2) 平成27年度の米子空港利用者数は、国内線が59.5万人、国際線が4.0万人、合計63.5万人であった。
- (3) ANAについては、米子ー東京線が平成27年4月1日から平成27年5月31日及び平成27年10月1日から平成28年3月26日の間は1日6往復12便化、平成28年3月27日から3月31日の間は1日7往復14便化となった。
- (4) スカイマークについては、平成27年9月1日から神戸線、那覇線が運休となった。
- (5) 米子空港の利用促進活動について、「米子空港利用促進懇話会」を通じ、各種利用促進活動、PR活動を行った。

### ア キャンペーン活動

平成27年10月17日に「空の日」の記念行事として行われる「米子空港まつり」を関係団体とともに開催するなど、各種キャンペーン活動を実施した。

### イ 旅行会社と連携した各種旅行商品の造成及びPR

鳥取県や、中海・宍道湖・大山圏域市長会等と連携し、東京便及び新規路線旅行商品造成及び閑散期対策を実施した。

### ウ 新聞雑誌等によるPR

新聞、雑誌、ラジオ、情報誌等により路線や旅行商品についてPRを行った。

### エ 国際チャーター便

平成28年2月26日～2月29日 チャイナエアラインによる台北へのプログラムチャーター便の就航

## 7 通信関係

通信業務の円滑な事業推進を図るため、関係諸団体との調整を行った。

## 8 水源対策関係

- (1) 賀祥ダム建設工事に係る水道局企業会計の負担に対し、次のとおり費用負担を行った。

ア 水道事業出資金	39,425,660円
イ 水道事業補助金	4,184,215円
- (2) 旧淀江町簡易水道事業に係る水道事業債償還金の一部について、次のとおり費用負担を行った。

ア 水道事業出資金	4,077,803円
イ 水道事業補助金	1,361,883円

## 9 高等教育機関連携事業

### (1) 高等教育機関の充実発展への支援

米子工業高等専門学校的发展と産学連携の強化を目的に、様々な事業を実施している米子工業高等専門学校振興協会の活動に対し、引き続き協力を行った。

平成27年度振興協力会活動内容

- ア 講演会・技術交流会
- イ 産官学連携推進のための調査研究支援
- ウ 共同研究支援

### (2) 高等教育機関との連携の強化

- ア 鳥取大学と県内四市連絡協議会の調整を行った。
- イ 鳥取大学の「地（知）の拠点整備事業」の2件の地域志向研究及び「地域貢献支援事業」の2件の地域課題研究に推薦書を交付した。
- ウ 鳥取大学と「地（知）の拠点大学による地方創生推進事業」に関する協定を締結した。

## 10 交通バリアフリー推進協議会関係

「米子市交通バリアフリー基本構想」（平成21年2月策定）で定めた各種事業の推進状況を評価、検討を目的とした「米子市交通バリアフリー推進協議会」を2回開催した。

開催日：平成27年11月30日、平成28年2月26日

## 11 「先端医療創造都市よなご」情報発信関係

全国でも比較優位性の高い医療関連技術やサービスをこれからの地域活性化に生かすため、米子における医療技術、医療機器開発、健康福祉の取組等、今後の産学官の連携を促進するシンポジウム（「健康で安心して暮らせる米子のこれから」）の開催とリーフレットを作成した。

開催日及び会場：平成28年2月11日 米子市文化ホール メインホール

## 12 弓浜コミュニティー広場関係

大篠津町において、平成21年から防衛省中国四国防衛局が整備した弓浜コミュニティー広場が、平成27年3月に完成し、7月9日にオープンした。人工芝で、主にサッカーやラグビー等の利用ができる第1多目的広場と、グランドゴルフ等の利用ができる第2多目的広場があり、11月からは指定管理者による施設管理を行っている。